

大野市生涯学習推進計画（案）に係るパブリックコメントの結果

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 案件名 大野市生涯学習推進計画（案）について
- (2) 募集期間 令和3年12月1日（水）から12月15日（水）までの15日間
- (3) 意見提出状況 提出意見：13件（提出方法：書面13件）
提出者：4人（書面4人）

2 意見の概要とその意見に対する市の考え方

該当箇所	番号	意見の概要	市の考え方	修正
P1	1	<p>「生涯学習とは」の意味において次のような視点も必要でないだろうか。</p> <p>生涯学習とは、生涯、学習することをいうのではないかと。生き物は、とりわけ人類は、人は生きている限り学習するということであり、または学習してしまうものではないだろうか。むしろ生き物は学習しなければ生きていけないといっても過言でない気がする。苦しんだり、悲しんだり、悩んだり、怒ったり、人間の喜怒哀楽、四苦八苦などは、特に学習を進めたり、深めたり、時にはゆがめたりすることもある様な気がする。つまり学習することによって、または学習してしまうことによって、幸か不幸か、生き甲斐になるかどうかなんとも言えないが、人生が歩んでゆくということではないだろうか。</p> <p>つまり、生きるということは学ぶということであり、学ぶということは生きるということではないだろうか。</p> <p>だから、何かを得るためにとか、夢を叶えるためにとか、目標を達成するためにとか、目標に向かってとか等、何かの理由のために学習するばかりではないことも知る必要がある気がする。そうでないと目標を見つけられない人や目標を持たない人、目標を持たない人はどういうことになるかなと気がかりである。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>「何かの理由のために学習するばかりではないことも知る必要がある」とのことですが、人は学ぶことによりさまざまな知識や能力を身に付け、生きがいを見つけることができます。生きがいにより人生が豊かになるとともに健康寿命を延ばすことができるとも考えています。</p> <p>本計画案では、子どもから高齢者まで、全ての市民がこれからの時代を生き抜くため、また、豊かな人生を送るため必要な能力を備えられるよう、さまざまな施策に取り組むこととしています。</p>	なし

P8	2	<p>現在は「人生100年時代」、少し前は「生涯現役」とかありましたが、とても無茶な言葉だなと思います。最初のページのはじめにで、全ての大野人がいきいきわくわく生涯学習に取り組めるように「大野市生涯学習推進計画」を策定しました。と書かれています。そんなことは無理で、実現可能の計画は考えられないと思います。全ての市民を対象とするならば元気な人の年代別ではなく、個々の市民の現状に添った実現可能な計画の目的が必要だと思えます。数少ない人生100年時代を大きく掲げるより、人生100年は無理な方がたくさん懸命に生きておられるということも意識した計画の目標がほしいなと思います。そうすれば、人生100年に追いつかない人たちはホッと安心するし、穏やかな気持ちで日々を過ごせるのではと思います。だから理想を求めて推進する計画は、活動の内容や評価をきちんとやらないと、スローガンだけが一人走りして終わりそうである。できることならば、全ての人を「人生100年時代」の一言でまとめない何か良い表現はないだろうかと思えます。</p>	<p>ご意見として承ります。 本計画案の基本目標は、市民全員が「いきいきわくわく学ぶ」ことで、大野市教育理念にもある「優しく、賢く、たくましい大野人」になることを目指して掲げたものです。 長生きされる方が増え、人生100年と呼ばれる時代になっている今だからこそ、全ての市民が生きがいを見つけて、豊かな人生を送れるよう、生涯学習の推進に取り組んでいきます。</p>	なし
P18	3	<p>学習を試みるとき、自分の生活のメリット、デメリットから離れた学習の必要性があると思う。地域の絆づくりや地域の宝や伝統の担い手（サポーター）を発掘したり育成をするときも、地域の人の個々の志向、好き嫌い、関心の有無などからいったん離れた考え方で計画が必要だと思う。</p> <p>地域の人同士が、最初からいきなり無条件に信頼し合うのはかなり難しいと思う。そのためには地域のなかで共同作業をしたり、挨拶をしたり、地域のボランティアグループに入ったり、班で懇親会を開いたり、子どもと遊ぶイベントを開催したり、共に何かを継続的にしたらどうだろう。</p> <p>生涯学習を推進する理由は、自分だけでなく大野の全ての人々が幸福で安心感のある穏やかな生活を実現するためである。そのための①情報を知る手段②いつも行く場所③継続していくこと等の具体策を各地域で練る。</p>	<p>ご意見として承ります。 生涯学習の推進に当たっては、子どもを含めた地域の人たちが継続的につながりを持つことができるようにさまざまな事業を実施していきます。 なお、事業の中には、テーマや内容が市民の方にとって関心の低いものもありますが、学んでいただきたいという思いで企画していますので、皆様に効果的にPRできるよう取り組んでいきます。</p>	なし

P23、24	4	<p>ひとつづくり、つながりづくりの取り組みに、農業を今まで以上に積極的に取り入れてみてはどうかと考えます。「結」は、かつては田植えや祭などと密接にあるものと聞き、そこに回帰することで郷土愛を育む取り組みがあれば参加したいです。特に子どもに関しては、郷土愛は学校での授業以外の部分で育まれる要素も多いと感じます。また親世代も、子どもと一緒に参加することで郷土に対する新たな発見があると思います。</p> <p>具体的な意見（1～4をひとつの講座として企画する）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 農業体験（田植え、種まき、苗植え／収穫） 2. 七間朝市体験（収穫した野菜を土日などに朝市で販売。販売までの出荷準備含め） 3. 食育（収穫後または朝市で買ったその野菜を使って料理） 4. 収穫後作業（種を取り次の年の用意をする、田畑の土を整えるなど） <p>農業は高齢男性が指導者として活躍して下さる場でもあると思うので、生涯学習への参加率が低い層にアプローチできるのではと考えます。七間朝市体験（高齢女性）と併せて世代間交流ができれば、市民全体のつながりが生まれ、郷土愛が育まれることに繋がればよいと思います。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>農業体験や食育については、これまでも世代間交流の機会として地域住民や関係者の協力を得ながら、市や各公民館の講座、学校現場などで実施してきました。</p> <p>本計画案においても、親子や地域の世代間交流のための講座、体験学習に取り組むこととしています。いただいたご意見のような農業体験など具体的な取り組みは、今後、教育現場や関係課、地域住民と連携して検討していきます。</p>	なし
P27	5	<p>生涯学習における音楽や芸術などの文化振興分野の記述が27ページにあるだけで、少ないように感じます。文化芸術活動の場の提供や、文化芸術団体の支援のほかにも、ジュニアの育成といった視点も必要ではないでしょうか。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>生涯学習における文化の振興につきましては、32ページの①で「市内各地区における歴史や文化、自然を学び体験できる学習を推進します」や34ページの③で「企業やボランティア団体、文化芸術活動を行う団体と連携し、市民への学習支援や体験できる学習の機会を広げます」と記述しており、大人だけでなく子どもたちの学習にも努めていきます。</p>	なし
P28	6	<p>（2）時代の変化に応じた知識や技術の学習 Society 5.0は半角文字で表記するか、文字間隔を詰めるかすべき。ソサエティ（Society）5.0とした方が読みもわかりやすいと思う。余白か</p>	<p>ご指摘の二点について、次のように記述を修正します。</p> <p>一点目 【修正前】 Society 5.0 【修正後】 Society5.0</p>	あり

		どこかに意味を記載した方がいいと思う。 「IoT」の表記は「IoT (Internet of Things)」。 余白かどこかに意味を記載した方がいいと思う。	二点目 【修正前】 I O T 【修正後】 IoT (Internet of Things) なお、両方の意味については、6 ページ下部にて説明書きを記述していますので、このページでは省略しています。	
P31	7	(1) 地域で支え合う仕組みづくり とにかく寄ってもらう。寄らせてもらう。助ける。助けてもらう。声かける。声かけてもらう。遊ぶ。遊んでもらう。教える。教えてもらう。とにかく近づき合う。何回かイベントをして集まってもらう。そしてお互いに自分以外の存在を感じる必要があると思う。	ご意見として承ります。 本計画案を策定するに当たって参考にした内閣府実施の生涯学習に関する世論調査では、学習したことがないと答えた方の多くが「忙しくて時間がない」「特に必要がない」「きっかけがない」という理由によるものであったことから、市としては、いかに地域が支え合い、つながり合う学習の機会を増やせるかが課題です。 今後、さまざまな施策を実施していく中で、市民の皆様が「寄り合う」「助け合う」「教え合う」ことができる方法を検討していきます。	なし
P32	8	(2) 地域に誇りと愛着が持てる学習の推進 地域の有識者、名物者、特技者・面白い人にボランティア活動をしてもらう。地域のボランティア人や団体の名簿を作成する。	ご意見として承ります。 基本方針1のひとづくりにおいて、ボランティアとして活躍する人材の育成と活動の支援に取り組むこととしています。 ご提案いただいた意見についても、この取り組みの中で地域の方に活躍していただく方法を検討していきます。	なし
P33	9	(3) 国際交流・国際理解教育の推進 世代混合代表団をつくり、国内の国際交流・国際理解教育の発展地域の視察研修をする。	ご意見として承ります。 国際交流・国際理解教育が発展している地域の状況を知ることは必要だと考えています。 今後企画する事業の中で、視察研修するのか、講師を招いて講座を開催するのかなど、こういった形で事業を実施していくかを検討していきます。	なし
P34	10	(4) 団体・企業との連携 地元の背骨である経済、経営、営業等の活性化に尽力されている団体や企業の経営者、アドバイザー、サポーター等の方に苦労話を聞く。	ご意見として承ります。 団体や企業については、今後の事業の中で市民に学習支援や体験学習の機会を広げられるよう連携するとともに、人材活用登録指導者の登録や派遣についても協力を依頼したいと考えています。 ご提案いただいた意見についても、その中で対応したいと考えています。	なし

P36	11	<p>(2) 気軽に集うことができる活動拠点の充実 気軽に何時でも学ぶことができる地域にも結とびあや市役所ロビーのような場所があればどの世代でも集うことができ、おたがいに交流が出来る、他を理解できるチャンスが生まれるかもしれない。まずは自分の勉強が自由にできる場所があるとよいと思う。</p>	<p>ご意見として承ります。 生涯学習センターや各地区の公民館、図書館の運営方法を工夫し、より市民が親しみやすく、仲間づくりや地域づくりができる場として提供していきます。 学習や活動の場として地域の方とともに各施設をご活用いただきたいと思います。</p>	なし
P36	12	<p>(2) 気軽に集うことができる活動拠点の充実 現在市庁内で今年新機構の地域づくり部と公共施設再編計画がこの「大野市生涯学習推進計画」と交差したり、逆行したり、矛盾しないように公共施設再編計画で、学ぶ場所が増え、学ぶ機会が増え、学びのアドバイザー、学びのサポーター、学びのリーダーが世代豊かに存在することを期待します。</p>	<p>ご意見として承ります。 公共施設再編計画と整合性を図りながら生涯学習の推進に努めていきます。</p>	なし
P37	13	<p>～わたしたちができること、みんなのできること～ 社会の一員となって、社会参加して、皆さんと共に幸福な社会で生きるために！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自他の区別 自分と他人(ひと)は別人であることを知り、その中身を理解することから始めよう。 ・自分の関心のないこと、自分の知らないこと、自分に直接関係のないことなどを学習して、自分の人生が周りから支えられていることを理解し、感謝の気持ちを持とう。 ・自分と同時代を生活している人と自分たちや社会のことを語り合おう。 ・自分と異なる世代に自分たちのできることで貢献しよう。 	<p>ご意見として承ります。 本計画案の「わたしたちができること、みんなのできること」については、計画期間である5年間で生涯学習を推進するに当たって、比較的市民の皆様が取り組みやすいと思われる内容を一言で示させていただきました。 ご提案いただいた意見については、これから生涯学習を推進していく上で参考とし、次期計画で検討したいと考えています。</p>	なし